

# 国語総合

## 1 目標

国語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊にし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## 2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したりするとともに、伝えあおうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

## 3 単位数・使用教科書

・5単位 1学年:3単位(105時間) 2学年:2単位(70時間)	・使用教科書 新編 国語総合 (大修館書店)
---	------------------------------

## 4 年間計画

### 1年次 (3単位)

月	単元名・教材	主な単元の目標	評価の観点					評価規準	主な評価方法
			関心 意欲 態度	話 す 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 理 解		
4	・国語の基礎・中学の復習	・表現と理解に役立てるための語彙・漢字・表記等を理解する。						・漢字や送り仮名の使い方、仮名遣いなどの基礎知識を理解しているか。 ・主な常用漢字について、その訓読を理解し、文脈に応じた適切な使い方ができるか。 ・国語の語句、語彙の構造的な仕組み、言語の個人的・社会的・文化的役割などについて理解しているか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
5	・伝え合うところ 『伝えたいと思うから』	・文章を正しく音読し、語句の意味を把握す ・人と人が言葉によって「伝え合う」ことの大事さを理解し、それが単なるスキルの問題ではないことがわかる。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・語句や表現を的確に読みとり、文脈を考えながら文章の要点を押さえているか。 ・筆者が述べようとしている内容を自分の経験や考えと照らし合わせ、深化させることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<1>									
6	・古文に親しむ 『沙石集』より 『ねずみの婿取り』	・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・古典作品が、遠い昔話ではなく現在の日本に残る文化・物の考え方などの基盤を作っているものだということを知る。 ・作品のテーマを考え、友達と意見交換をする。						・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いが理解できるか。 ・基本的な古語・慣用語の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができるか。 ・寓話を通して作者がうたえたかったことを理解し、自身の問題として捉えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	・広がる見方・考え方 『心が生まれた惑星』	・文章を正しく音読し、語句の意味を把握す ・論理的な文章を正確に読み取る。 ・科学的な話題の持つ面白さを知る。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理的な文章の構成を理解し、筆者の意見を読み取れるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
7	・図書館の使い方 <司書によるオリエンテーション>	・図書館を目的に応じて有効に利用する方法を身につける。						・NDC(日本十進分類法)のおおまかな構成やレファレンスサービスを理解し、用途に応じて利用できるか。 ・図書館でのマナーを身につけることができるか。	授業への取り組み
定期テスト<2>									
8	・敬語の使い方	・尊敬語と謙譲語の使い分けができるようにする。						・敬語の種類や性質を理解できるか。 ・立場や関係、目的や場面に応じた敬語を使うことができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
9	・漢文のとびら 『訓読の決まり』 『格言』『故事成語』	・訓読の決まりを理解し、書き下し文が書けるようにする。 ・格言や故事成語の意味を理解し、そこで得られる教訓が、現在の自分の生活にも当てはまるものだと感じ取ることができる。						・訓読や書き下し文の決まりを理解しているか。 ・内容を的確に読み取っているか。 ・述べられている教訓を理解し受け止め、そのおもしろさを味わえるか。	授業への取り組み
10	・読むことの楽しみ 『記念写真』	・文章を正しく音読し、物語に登場する人物やその心理、各場面の状況等を読み取る。 ・スピード感のある展開のおもしろさを味わい、読書の楽しみを知る。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・登場人物の人物像や心理、彼らを取り囲む状況等を把握できたか。 ・効果的な表現や意外性のある展開に触れ、短編小説を読む楽しさがわかるか。 ・虚構の世界を通して、自身を含めた人間への関心を深め、自己の生き方を考えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題

	・論理をはぐくむ 『日本人としての自覚が国際性を高める』	・論理的な文章の構成を理解し、筆者の言う「真の国際性」の意味を把握する。						・文章を正しく音読し、語句の意味を把握することができるか。 ・文脈や筆者の意見に忠実な読解をし、その主旨を読めるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<3>									
11	・随筆の楽しみ 『徒然草』より 『高名の木登り』	・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・高名の木登りの発言の主旨を正確に理解し、筆者がそれに敬意を払っている理由がわかる。						・基本的な古語・慣用表現の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができる ・寓話を通して筆者がうたったことが理解し、自身の問題として捉えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
12	・和歌と俳諧の調べ 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』より	・古典和歌に親しみをもてるようにする。 ・「万葉集」「古今集」「新古今集」それぞれの和歌を数首ずつ読み、韻律や内容を理解する。						・古典和歌を繰り返し音読することで、そのリズムを楽しみ、味わえたか。 ・「万葉集」「古今集」「新古今集」それぞれの成立状況や歌風の違いを理解できるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	・伝え合うところ 『さびしんぼうだった青春時代』	・文章を正しく音読し、語句の意味を把握する。 ・筆者の意図を正確に読み取り、その本意を汲み取る。						・語句や表現を的確に読みとり、文脈を考えながら文章の要点を押さえているか。 ・伝え合うことの根底になる「信頼関係」の重要性を理解したか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<4>									
1	・読みを深める 『羅生門』	・文章を正しく音読し、表現に則して語彙力と読解能力を高め、想像力を養う。 ・作品中で描かれる作者の世界観・人生観に触れ、各自が自分の中にそれらを形成する契機とする。						・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・そこに描かれた情景、登場人物の心理や人物像を、表現に即して読み味わうことができるか。 ・すぐれた描写、効果的な表現を読み、短編小説を読む楽しさを味わえるか。 ・虚構の世界を通して、自身を含めた人間への関心を深め、自己の生き方を考えることができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
2	・詩歌との出会い 『十五歳』 『生ひ立ちの歌』 『はる』 『あどけない話』 『旅上』 『旅のころ』 『遠くへ行きたい』	・詩の多彩な表現に触れ、それを楽しみ、味わう。						・読みや発音に留意し、正しく朗読できるか。 ・詩の中に込められた、固有の表現を理解できるか。 ・詩特有の技法を理解し、情景や心情などを表現に即して読み味わうことができるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
3	・随筆の楽しみ 『枕草子』より 『はしたなきもの』	・文章を正しく音読し、意味を把握しながら、話の内容を理解する。 ・筆者の美意識を理解する。						・基本的な古語・慣用表現の意味と使い方を理解し、省略された助詞等の語句を補いながら口語訳ができるか。 ・筆者がどんなことを「はしたなきもの（=きまりが悪いもの）」と思っているかを理解し、それが現在の生活にもあてはまることに気がつき、古の人々と自分たちが地続きであることを理解できるか。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
	・国語常識 手紙・封筒・葉書の書き方、十二支・月の異名など	・日本語の常識を理解し、日常生活に生かす。						・手紙や葉書などの書き方を理解し、マナーを身につけたか。 ・方位・時刻・干支などの日本文化の常識を把握し、それらの文化が現代の日々の暮らしに生きていることを自覚し、それらのおもしろさに積極的に触れる。	授業への取り組み 定期テスト 練習問題
定期テスト<5>									

2年次 (2単位)

月	単元名・教材	主な単元の目標	評価の観点			評価規準	主な評価方法
			関心意欲態度	話す聞く能力	書く読む能力		
4 5	・漢字に親しむ 『漢字の性格』	・漢字を確認しながら本文を正確に読む。 ・文字に興味を持ち、日本語の文字の使われ方の特殊性に気づく。 ・漢字への興味関心を喚起する。				・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・文章の要点を押さえながら、全体のあらすじを理解しているか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、正しく理解しているか。 ・日本語の文字の特殊性に気づき、作者の考えをまとめることができるか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト
	・古文に親しむ 『宇治拾遺物語』より 『ちこのそら寝』	・本文を正確に音読する。 ・文語のきまりを理解する。 ・人物の心情を表現に即して読み味わう。				・歴史的仮名遣いに注意して正しい音読ができるか。 ・古語辞典を正しく引くことができるか。 ・古文単語を正しく理解しているか。 ・省略された助詞や体言などを補いながら、口語訳ができるか。 ・登場人物の心情を読みとりながら、話の面白さを理解しているか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト
	『古典冒頭選』	・代表的な古典の冒頭に触れ、日本人としての共通な教養を見見つける。 ・古文のリズムに注意し、正確にはっきりと朗読する。 ・朗読、暗唱を通して、古文に興味を持つ。				・歴史的仮名遣いに注意して正しい音読ができるか。 ・代表的な古文の冒頭を暗唱できるか。	授業への取り組み 定期テスト 暗唱テスト
定期テスト 1							

6	・読むことの楽しみ 『俺はその夜多くのことを学んだ』	・登場人物の心情に注意して読み味わう。 ・現代小説の面白さを読み味わい、これをきっかけに他の作品に興味や関心を持つ。 ・コメディ作家としての作者の表現の面白さを味わう。					・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・登場人物の心の変化を読み取りながらあら筋を理解しているか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、正しく理解しているか。 ・作品の面白さを理解しているか。 ・登場人物の心情に共感し、感想を書くことができるか。	授業への取り組み プリント 感想文 定期テスト
	・読書の輪を広げよう 本の紹介文を書く	・本の紹介文を書き、その本の内容や魅力を友達に伝える。 ・友達の記事を読み、本に興味・関心を持つ。					・自分の紹介したい本の内容が的確に書かれているか。 ・紹介したい理由が明確に書かれているか。 ・紹介文に工夫が凝らされているか。	授業への取り組み 紹介文
7	・唐詩のしらべ 『自然のうた』『春暁』 『友情のうた』 『黄鶴楼送孟浩然之広陵』 『憂愁のうた』『春望』	・唐詩の名作に触れ、それぞれの作品に表れている心情、主題について理解する。 ・繰り返し音読することにより、漢文のリズムをつかむ。 ・漢詩(絶句・律詩)の形式について基礎的な知識を理解する。 ・著名な唐の詩人について調べる。					・漢文を正しく訓読できるか。 ・漢詩(絶句・律詩)の形式について理解しているか。 ・漢詩を正確に暗唱できるか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 暗唱テスト
	・国語常識 『四字熟語』 『故事成語』 『高校漢字必携』	・国語の常識事項を身につける。					・四字熟語・故事成語を正しく読み、漢字で正確に書くことができるか。 ・四字熟語・故事成語の意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト
定期テスト 2								
8	・広がる見方・考え方 『日本の渚』	・文章の筋道を意識し、その流れに従って読みながら、論理的文章の特色を理解する。 ・論理的な文章の構成に注意しながら、筆者の意見を読み取る。 ・筆者の意見をふまえながら、自分の意見をまとめる。					・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・文章構成に従って要旨をまとめることができるか。 ・語句の意味を辞書で引くことができ、その意味を理解しているか。 ・筆者の意見に対して、自分の考えを書くことができるか。 ・漢字を正確に書くことができるか。	授業への取り組み プリント 意見文 定期テスト 漢字小テスト
9	・物語の世界 『伊勢物語』より 『芥川』	・現代の高校生にとって関心の深い男女の愛情についての内容に触れながら、古文に親しむ。 ・文脈をたどりながらあら筋を的確に読み取る。 ・登場人物の心情を和歌を手がかりにして読み取る。					・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・『伊勢物語』についての基礎知識を理解しているか。 ・和歌の意味と文中での働きを理解しているか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト
10	・孔子のこころ 『学問のすすめ』 『いかに生きるか』	・孔子の学問に対する考え方を知り、学問の在り方について考える。 ・孔子の考え方が現代の思想にどのように関わっているか考える。 ・孔子の考え方を理解し、自分の生き方や考え方を見直す。					・漢文の訓読法に従ってそれぞれの文章を読み、内容を理解しているか。 ・正しく音読ができるか。 ・漢文の訓読法に従って、書き下し文にできるか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 書き下し文テスト
定期テスト 3								
11	・論理をはぐくむ 『マンガ線から絵が生まれるとき』	・論理的な文章を展開に従って分析していき、結論としての主張を導き出す。 ・評論に多く使われる概念語の意味や用法に注意し、自分でも使えるように修得する。 ・高校生にとって身近なマンガを、違った視点から考えることの面白さを学ぶ。 ・他人の意見や発想を受け止め、それに対する自分の意見をまとめ、主張する。					・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理をたどりながら、文章の構成を組み立てることができるか。 ・筆者の結論に対して、自分の意見を述べることができるか。 ・概念語を辞書で引くことができ、その意味や用法を理解しているか。 ・漢字を正しく書くことができるか。	授業への取り組み プリント 意見文 定期テスト 漢字小テスト
	・和歌と俳諧の調べ 『奥の細道』より 『旅立ち』	・音読を通して俳文のリズミカルな文体を読み味わう。 ・句と文とが切り離すことができない俳文の特徴を理解し、発句を丁寧に読解する。 ・芭蕉の旅に対する思いや行動を分析しながら、芭蕉の芸術と人生観を理解する。					・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・発句の内容とその働きを理解しているか。 ・芭蕉についての基礎的な知識を理解しているか。 ・芭蕉の人生観について理解しているか。	授業への取り組み プリント 音読テスト 定期テスト 単語小テスト
12	・国語常識 『反意語・同意語』 『ことわざ』 『高校漢字必携』	・国語の常識事項を身につける。					・反意語・同意語を正しく理解し、正確に漢字で書くことができるか。 ・ことわざの意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト
定期テスト 4								
1	・論理をはぐくむ 『水の東西』	・論理的な文章を展開に従って分析していき、結論としての主張を導き出す。 ・具体的な例から抽象的な見解へと進む論の運びを学びながら、要旨をまとめる。 ・身の回りの物事に興味を持ち、深く考える習慣を身に付ける。 ・論の運び方に注意しながら、小論文を書く。					・読みや発音に留意し、正しい音読ができるか。 ・論理をたどりながら、要旨をまとめることができるか。 ・難解な語句を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・具体的な例を挙げて、抽象的な結論へと導く小論文が書くことができるか。 ・漢字を正しく書くことができるか。	授業への取り組み プリント 小論文 定期テスト 漢字小テスト
2	・物語の世界 『平家物語』より 『木曾の最期』	・活き活きとした合戦の場面を読むことで、古文の物語の面白さを実感する。 ・リズム感のある語り調子の文体を読み味わう。 ・登場人物の心の動きを追いながら、それぞれの人間性を読み取る。					・歴史的仮名遣いに注意しながら、正しく音読できるか。 ・古文単語を辞書で引くことができ、この文中での意味を正しく理解しているか。 ・場面ごとに人物の行動と心情を整理することができるか。 ・『平家物語』についての基礎的な知識を理解しているか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 単語小テスト
3	・国語常識 『慣用句』 『高校漢字必携』 『就職漢字の読み書き』	・国語の常識事項を身につける。					・慣用句の意味を理解しているか。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送りがなの付け方等の漢字の基礎知識を理解しているか。 ・就職漢字の読み書きが正確にできるか。	授業への取り組み プリント 定期テスト 漢字小テスト
定期テスト 5								

# 地理 A

## 1 教科目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うと共に、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

## 2 評価の観点及び趣旨

意欲・関心・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を公正に判断できる力を養う。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通じて現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する力を養う。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や、追究方法を理解し、その知識を身に付けている。

## 3 年間学習計画

学 習 単 元			配当時間
節	項	内 容	
第1節	1 地球上での生活	1 地球の形と運動 2 回転する地球と時刻	9
	2 地球規模からみた世界	1 地球規模でみる方位・距離・位置 2 地球と世界地図 3 大きくとらえた世界 4 世界各国の位置関係	
	3 世界的視野からみた日本の位置と領域	1 日本の位置 2 日本の領域	
第2節	1 情報・通信の発達により一体化する世界	1 世界と密着した情報 2 インターネットが結ぶ世界 3 世界の通信網	12
	2 交通の発達により交流する世界	1 高速化する交通機関 2 変わる交通機関の役割 3 さらに短縮される時間距離	
	3 世界の貿易	1 世界の地域間貿易 2 各国の貿易 3 貿易構造の変化	
	4 国家間の結合	1 変化する国家間結合	
第3節	1 経済発展と消費・余暇活動	1 消費・余暇活動の重要性の増大 2 消費行動と商業の変化	7
	2 人間活動を知る身近な情報	1 ルポルタージュを読んでみよう 2 写真から世界を読む 3 観光パンフレットから世界を知る 4 パンフレットなどを集め海外旅行計画を立てる	
第4節	1 身近にみられる国際化	1 身近な国際化を考える 2 身近にみられる食の国際化	7
	2 国際化を課題にした身近な地域調査	1 群馬県大泉町における日系南アメリカ人の生活を調べる 2 東京市場の輸入カボチャを調べる	
	3 日本と世界との交流	1 日本に暮らす外国人 2 外国での体験を生かす日本人 3 自治体の国際交流への取り組み - 京都市を例にして	
口絵	宇宙からみた現代世界 さまざまな機能をもつ都市		2

第5節	1 人びとをとりまく地形	1 人間の生活と大地形 2 人間生活に密接に関係する地形	16
	2 人びとをとりまく気候	1 人間の環境としての気候 2 気象災害 3 気候区分	
	3 世界の民族と文化	1 民族と言語・宗教 2 国家と民族	
	4 アメリカの生活・文化と環境	1 広大な国土と多様な自然 2 アメリカ人の形成 3 企業的なアメリカの農牧業 4 豊かな生活をささえる資源と工業生産 5 アメリカの都市の生活	
	5 西アジア・北アフリカの生活・文化と環境	1 乾燥した自然環境への適応と克服 2 豊富な石油資源が変える人びとの生活 3 生活・文化に影響をあたえる宗教	
	6 EUの生活・文化と環境	1 まとまりあうヨーロッパ 2 さまざまな文化と地域 3 深まる交流	
	7 オーストラリアの生活・文化と環境	1 多文化社会の国から日本へ寄せる視線 2 豊かな産業に恵まれる内陸部	
第6節	1 近隣諸国の学習		5
	2 韓国の生活・文化と日本	1 朝鮮半島と日本の自然の比較 2 韓国文化の特徴 3 韓国経済の急速な発展 4 これからの日韓関係	
	3 中国の生活・文化と日本	1 巨大な人口 2 工業地域の分布と工業の発展 3 中国と日本との交流	
	4 ロシアの生活・文化と日本	1 ロシアと日本の暮らしを建物からみる 2 ロシアと日本の共通性と異質性を追究する	
第7節	1 地球的課題の出現と地域性	1 地球的視野と地域的視野	14
	2 人口問題	1 急増する世界の人口 2 インドの人口問題 - 発展途上国の例として 3 スウェーデンの人口問題 - 先進国の例として	
	3 居住・都市問題	1 現代世界の都市問題 2 ラテンアメリカの都市化と都市問題 - 発展途上国の例として 3 イギリスと日本の都市化と都市問題 - 先進国の例として	
	4 食料問題	1 世界の食料問題 2 アフリカにおける食料不足地域の問題 3 食料余剰地域への期待	
	5 資源・エネルギー問題	1 資源・エネルギーの特色とエネルギー問題 2 原料資源問題 - 鉄鉱と石炭を例に 3 日本の資源・エネルギー問題	
	6 環境問題	1 地球的規模の環境問題 2 地球の温暖化とその影響 3 ヨーロッパにおける酸性雨の被害 4 東南アジアの熱帯林の減少	
	7 相互に関連する地球的課題	1 地球的課題への国際協力 2 国際社会での日本の役割	
合計授業時数			65

4 単元ごとの評価規準

単元	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
現代世界の特色	球面上の世界と地域構成	球面上の世界と地域構成に関する課題を設定し、それらを地球儀と世界地図との比較、略地図の描図などを通して多面的・多角的に追究するとともに、地球儀や地図を活用して球面上の世界と地域構成をとらえる方法を考察している。	球面上の世界と地域構成に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追究する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	地球儀と世界地図との比較、略地図の描図などを通してとらえた球面上の世界と地域構成を理解するとともに、地球儀や地図を活用してそれらをとらえる方法を理解し、それらの知識を身につけている。	
	結びつく現代世界	現代世界の結びつきやその変化に対する関心と課題意識を高め、それらを年次の異なる主題図や統計などを比較し関連付けて追求する学習に意欲的に取り組み、地理情報の活用に関する技能を身につけようとしている。	現代世界の結びつきやその変化に関する課題を設定し、それらを年次の異なる主題図や統計などを比較し関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、地理情報を活用して球面上の世界と地域構成をとらえる方法を考察している。	年次の異なる主題図や統計などを比較し関連付けてとらえた現代世界の結びつきの地域性や動向を理解すると共に、地理情報を活用してそれらをとらえる方法を理解し、それらの知識を身につけている。	
	多様な人間を行動増進と現代世界	現代世界の人間の行動の多様化に対する関心と課題意識を高め、それらを地理的環境と関連付けて追求する学習に意欲的に取り組み、身近な情報として活用する技能を身につけようとしている。	現代世界の人間の行動の多様化に対する関心と課題を設定し、それらを地理的環境と関連付けて多面的・多角的に追求するとともに、身近な情報を地理情報として活用して現代世界の人間の行動の多様化に関する地域性や動向をとらえる視点や方法を考察している。	現代世界の人間の行動の多様化に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追求する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	地理的環境と関連付けてとらえた現代世界の人間の行動の多様化に関する地域性や動向を理解すると共に、身近な情報を地理情報として活用してそれらをとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	身近な地域国際化の進展	身近な地域と国際化の進展に対する関心と課題意識を高め、それらを生活圏、行動圏に見られる世界と結びつく諸事象の地域調査やその結果の地図化などを通して追究する学習に意欲的に取り組み、地域調査に関する技能を身につけようとしている。	身近な地域と国際化の進展に対する関心と課題を設定し、それらを地域調査やその結果の地図化などを通して多面的・多角的に追求するとともに、地域調査を通して身近な地域の国際化の進展の様子をとらえる視点や方法を考察している。	身近な地域と国際化の進展に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追求する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	地域調査やその結果の地図化などを通してとらえた身近な地域の国際化の進展の様子を理解すると共に、地域調査を通してそれらをとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。

地域性から見た世界の課題	諸地域の生活・文化と環境	世界諸地域の生活・文化に対する関心と課題意識を高め、それらを地理的環境や民族性と関連付けて追究する学習に意欲的に取り組み異文化を理解し尊重することが必要である事をとらえようとしている。	世界諸地域の生活・文化に対する関する地理的事象から課題を設定し、それらを地理的環境や民族性と関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、世界諸地域の生活・文化を地理的に考察する視点や方法、異文化を理解し尊重することが必要であることについて考察している。	世界諸地域の生活・文化に対する関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追究する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	世界諸地域の生活・文化を世界的視野から大観し、地理的環境や民族性と関連付けてとらえた事例地域の生活・文化を多面的・多角的に理解するとともに、それらを地理的に考察する視点や方法、異文化を理解し尊重することが必要であることを理解し、それらの知識を身につけている。
	近隣諸国の文化と日本	近隣諸国の生活・文化の特色に対する関心と課題意識を高め、それらを地域の環境条件と関連付けて追究する学習に意欲的に取り組み、近隣諸国の生活・文化を理解し尊重することが必要である事をとらえようとしている。	事例として取り上げた近隣諸国の生活・文化に関する地理的事象から課題を設定し、それらを地域の環境条件と関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、近隣諸国の生活・文化に考察する視点や方法、近隣諸国の生活・文化を理解し尊重することが必要であることについて考察している。	事例として取り上げた近隣諸国の生活・文化に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追究する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	事例として取り上げた近隣諸国の生活・文化の特色を地域の環境条件と関連付けて理解するとともに、それらを地理的に考察する視点や方法、近隣諸国の生活・文化を理解し、それらの知識を身につけている。
	諸地域から見た地球的課題	現代世界が抱えている地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それらを地球的及び地域の視野から追究する学習に意欲的に取り組む、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることや、それらの課題の解決にあたっては各国の取り組みとともに国際協力が必要である事をとらえようとしている。	現代世界が抱えている地球的課題に対する関する地理的事象から課題を設定し、それらを地球的及び地域の視野から多面的・多角的に追究するとともに、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることや、それらの課題の解決にあたっては各国の取り組みとともに国際協力が必要であることについて考察している。	現代世界が抱えている地球的課題に対する関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追究する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	現代世界が抱えている地球的課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解するとともに、地球的諸課題の解決にあたっては各国の取り組みとともに国際協力が必要であることを理解し、それらの知識を身につけている。
	近隣諸国や地球本格的課題と国際協力	近隣諸国や日本が取り組んでいる地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それらを地球的及び地域の視野から追究する学習に意欲的に取り組み、それらを地球的課題の現れ方は国によって異なっていることやその解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であること、地球的課題の解決を目指す日本の役割をとらえようとしている。	事例として取り上げた近隣諸国や日本が取り組んでいる地球的課題に関する地理的事象から課題を設定し、それらを地域性を踏まえて多面的・多角的に追究するとともに、それらの地球的課題の現れ方は国によって異なっていることやその解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であること、地球的課題の解決を目指す日本の役割について考察している。	事例として取り上げた近隣諸国や日本が取り組んでいる地球的課題に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを地理的に追究する技能を身につけるとともに、そうした追究、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	事例として取り上げた近隣諸国や日本が取り組んでいる地球的課題の現れ方が異なっていることやその解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることを理解するとともに、地球的課題の解決を目指す日本の役割を理解し、それらの知識を身につけている。

5 項目ごとの評価方法

大項目	項目	意欲・関心・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
現代世界 の特色	球 面上 の 世界と 地域 構成	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	結 び つ く 現 代 世 界	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	多 様 さ を 増 す 人 間 行 動 と 現 代 世 界	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	身 近 な 地 域 の 国 際 化 の 進 展	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
地域性から みた世界の課題	諸 地 域 の 生 活・ 文 化 と 環 境	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	近 隣 諸 国 の 生 活 と 日 本	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	課 題 地 域 か ら 見 た 地 球 的	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験
	近 隣 諸 国 や 日 本 が 取 り 組 む 地 球 的 課 題 と 国 際 協 力	出席状況 学習態度（発言・調べ） 学習プリント	学習態度（発言・判断） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言・作業） 学習プリント 定期試験	学習態度（発言） 学習態度（発言） 定期試験

## 数学 評価規準

### 第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨

#### 1 教科目標

数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め，事象を数学的に考察し処理する能力を高め，数学的活動を通して創造性の基礎を養うとともに，数学的な見方や考え方の良さを認識し，それらを積極的に活用する態度を育てる。

#### 2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的活動を通して，数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方の良さを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。	数学的活動を通して，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決する。	数学における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。

### 第2 各科目の評価基準

#### 1 目標

式と証明・高次方程式，図形と方程式，いろいろな関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

#### 2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的活動を通して，式と証明・高次方程式，図形と方程式，いろいろな関数及び微分・積分における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，式と証明・高次方程式，図形と方程式，いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	式と証明・高次方程式，図形と方程式，いろいろな関数及び微分・積分の考えにおいて，事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決する。	式と証明・高次方程式，図形と方程式，いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。

### 3 内容のまとめりごとの評価規準（おおむね満足できると判断されるもの）

(1) 方程式と不等式			
目標 等式や不等式を証明することの意味や方法について学ぶことにより，数学的な考え方や論理的思考力を養い，式と証明についての理解を深める。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
多項式の除法、分数式、恒等式、等式と不等式の証明に関心をもつとともに、それらを問題解決に活用しようとする。	多項式や分数式の計算や恒等式の考え方を通してしき変形の基礎を明確に理解し、等式や不等式の証明を通じて数学的に考察し論証ができる。	多項式の除法や分数式の計算を用いて数式を同値変形し、等式や不等式の証明を的確に処理できる。	多項式や分数式、実数の基本的な扱いができ、数学的な証明の方法や意味を理解している。

(ア) 多項式の割り算 多項式の割り算についての理解を深め、具体的な事象の考察に活用することができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
多項式の割り算	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の割り算に関心をもち、商と余りを求めようとする。</li> <li>割られる式、割る式、商、余りの間に成り立つ関係を理解し、具体的な事象について活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の割り算について数学的に考察することができる。</li> <li>割られる式、割る式、商、余りの関係を多面的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式を整理して多項式どうしの割り算を解くことができる。</li> <li>具体的な事象について割られる式、割る式、商、余りの関係を等式に表すことができ、またそれを利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の性質を理解し、演算ができる。</li> <li>式と計算において同類項をまとめ降べきの順に整理できる。</li> <li>割られる数、割る数、商、余りの基礎的な知識を身に付けている。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(イ) 分数式とその計算 分数式についての理解を深め、具体的な事象の考察に活用することができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
分数式とその計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数式に関心をもち、既約分数式に整理しようとする。</li> <li>分数式の四則演算を解こうとし、具体的な事象について分数式を活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数式の性質を数学的に考察することができる。</li> <li>分数式の算法を利用して、具体的な式の計算を多面的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数式の性質を基にして、既約分数式で表せる。</li> <li>分数式の四則計算を理解し必要に応じて約分、通分を行い、解を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式と計算、分数、通分、約分について理解している。</li> <li>文字を含む式の四則計算を理解している。</li> <li>指数法則、分配法則、乗法公式、因数分解を理解している。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(ウ) 恒等式 恒等式と方程式の違いを理解し、恒等式になるように係数の決定ができる。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
恒等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒等式の定義と方程式の定義の違いについて関心をもち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒等式と方程式の区別がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>等式の中から恒等式を選ぶことができる。</li> <li>恒等式になるように係数を定めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒等式の性質を理解している。</li> <li>恒等式の性質を利用するための式変形ができる。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 等式・不等式の証明			
目標 等式、不等式の基本性質などを用いて式の証明を扱い、代数的な教材を基にして論証についての理解を深める。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数学的な証明とはどのように行うかに興味を持ち、自分で論証をしようとする。	条件式や実数の性質を利用して、同値性を保ったまま数学的に考察して証明できる。	実数の大小関係の性質などを用いて、等式や不等式の証明を的確な方法で処理できる。	実数の性質を理解し、数学的な証明の意味を認識している。

(ア) 等式の証明				
数学の基礎としての証明を理解し、等式の基本となる3つの方針を用いながら論証の仕方を学び理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
等式 の 証 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 数学的な証明がどのようなものか理解し、自分で論証をしようとする。</li> <li>➤ 証明の3つの方針の違いとそれぞれの良さを理解し、具体的な証明を行おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 数を複素数まで拡張した過程を考察することができる。</li> <li>➤ 条件式から1文字消去するのか、多項式を置き換えるのか適切に処理できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 式の形をみながら証明の方針を切り替えられる。</li> <li>➤ 条件式を証明に組み込んで処理できる。</li> <li>➤ 文字式の同値変形ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 等式の同値変形と等式の証明の違いを理解している。</li> <li>➤ 条件式によって、1文字消去できることを理解している。</li> </ul>
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック 自己評価	発言 観察 ノートチェック 自己評価	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(イ) 不等式の証明				
実数の大小関係に関する基本性質などを明らかにし、不等式の証明方法を理解する。さらに、不等式の証明を通して、数学の論証についての理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
不 等 式 の 証 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 実数の大小関係や不等式の基本性質について関心を持つ。</li> <li>➤ 不等式の証明に関心を持ち、実数の大小関係や不等式の基本性質を用いて不等式の証明に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 不等式 <math>A &gt; B</math> が成り立つことを示すには、<math>A - B &gt; 0</math> を示せばよいことが理解できる。</li> <li>➤ 根号や絶対値を含む不等式では、各正数の2乗の大小を比較することが理解できる。</li> <li>➤ 相加平均・相乗平均の大小関係が理解できる。</li> <li>➤ 等号が成り立つ不等式において、どのような場合に等号が成り立つか考察できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 左辺と右辺の差をとることにより、不等式の証明ができる。</li> <li>➤ 実数の平方の和は常に0以上になることを利用して、不等式の証明ができる。</li> <li>➤ 正の数は2乗しても大小関係が変わらないことを利用して、根号</li> <li>や絶対値を含む不等式の証明ができる。</li> <li>➤ 相加平均・相乗平均の大小関係を利用して不等式の証明ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 実数の順序関係や大小関係の基本性質が理解できている。</li> <li>➤ 実数の大小関係と差の関係が理解できている。</li> <li>➤ 実数の平方と平方の和の符号の関係が理解できている。</li> <li>➤ 正の数の大小</li> <li>と平方の大小の関係が理解できている。</li> <li>➤ 相加平均と相乗平均の定義、および大小関係が理解できている。</li> </ul>

発言 観察 ノートチェック 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	観察 ノートチェック ペーパーテスト	ノートチェック ペーパーテスト 自己評価
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------	----------------------------

(2) 2次関数

複素数と方程式			
目標 数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の計算や2次方程式についての理解を深め、更に高次方程式を因数分解して解くことにより、高次方程式にもそれらを活用できるようにする。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
数の拡張の意義に関心を持ち、方程式と解についての知識を深め、それを活用しようとする。	数の拡張の過程や方程式と解の性質についての調べ方や応用の仕方が考察できる。	複素数の計算や、方程式の解法、解の性質や種類についての的確に処理できる。	複素数の四則演算や性質を理解し、また、方程式の解法や解についての知識を身に付けている。

ア 複素数と方程式の解				
2次方程式を解くことから複素数を考えることの意義を理解し、2次方程式が複素数の範囲で必ず解をもつことやその解と係数の関係について学び、2次方程式についての理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 複素数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>数を複素数まで拡張してきた考え方や過程に関心をもち、調べようとする。</li> <li>互いに共役な複素数の和と積は実数であることに興味を持つ。</li> <li>複素数の四則演算をしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数を複素数まで拡張した過程を考察することができる。</li> <li>負の数の平方根の定義の妥当性とそれを利用して2次方程式の統一的に解けることが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数についての四則計算ができる。</li> <li>負の数の平方根についての計算ができる。</li> <li>負の数の平方根を利用して、簡単な2次方程式が解ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の相等についてその妥当性を理解している。</li> <li>複素数が四則演算に関して閉じていることを理解している。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 2次方程式の解	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の範囲では2次方程式は必ず解をもつことに興味を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>判別式の符号により実数係数の2次方程式の解の種類が判別できる過程が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解が虚数となる2次方程式を解くことができる。</li> <li>判別式を用いて、実数係数の2次方程式の解の種類が判別できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解の公式により2次方程式が統一的に解けることを理解している。</li> <li>判別式の符号により実数係数の2次方程式の解の種類が判別できることを理解している。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(ウ) 解と係数の関係

2次方程式の解を直接求めなくても、解そのものの代わりに解と係数の関係を用いることにより、解に関するいろいろな問題が処理できることを体得させる。

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
解と係数の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の解に関する問題を、解を求めることなく解くことができる場合があることに関心を持つ。</li> <li>問題の処理に積極的に解と係数の関係を利用しようとする。</li> <li>高次の対称式を基本対称式で表すことの良さを認識し、積極的に式を変形しようとする。</li> <li>(発展)2次方程式の解とグラフや軸の関係、さらに2次式の因数分解への利用などより深い内容についても興味を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2解が複雑な形をしていても、その和と積は係数を用いて簡単な分数で表現されることを理解し、活用できる。</li> <li>解と係数の関係式を双方向から見て、式の値の計算や、2次方程式の係数の決定などの問題に応じて使うことができる。</li> <li>2次方程式の解の符号と、グラフと軸の関係についても発展的に考察することができる。</li> <li>(発展)解の公式が2次式の因数分解に利用できることを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の係数から2解の和と積が計算できる。</li> <li>逆に与えられた2数から、その2数を解に持つ2次方程式を作ることができる。</li> <li>高次の対称式を基本対称式を用いて表現できる。</li> <li>2次方程式の解に対する条件を、<math>a, b, c</math>を用いて数式として表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解と係数の関係は2解が虚数の場合も成り立つことを理解している。</li> <li>係数が実数の場合には、2解が虚数ならばそれらは共役複素数であることを理解している。</li> <li>2次方程式の判別式の符号に関する条件が問題に明記されていなくても、必要に応じて追加できる。</li> <li>(発展)係数が実数の2次式は複素数の範囲で常に因数分解可能であることを納得している。</li> </ul>
発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック 自己評価	発言 観察 ノートチェック 自己評価	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

### イ 高次方程式

目標 剰余の定理や因数定理を利用することの意義を理解し、的確に利用するとともに、高次方程式についての理解を深め、解を求められるようにする。

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
剰余の定理、因数定理	剰余の定理、因数定理に関心をもつとともに、それらを高次方程式の解を求めるために活用しようとする。	剰余の定理、因数定理を整式のわり算、高次方程式の因数分解などに活用し、数学的に考察することができる。	剰余の定理を利用して整式を割った余りを求めることができる。因数定理を利用しての因数分解ができ、高次方程式を解くことができる。	高次方程式を解くために因数分解を行うことを理解し、基礎的な知識を身に付けている。

### イ 剰余の定理と因数定理

剰余の定理・因数定理について理解し、的確に利用することができる

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 剰余の定理 因数定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>剰余の定理によって簡単に余りが求められる考え方や過程に関心をもち、具体的に試してみる。</li> <li>因数定理によって整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整式における除法の原理を理解し、剰余の定理が考察できる。</li> <li>因数定理から因数分解へと定理を利用することの利点を確認す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記号 <math>P(x)</math> が利用できる。</li> <li>剰余の定理を利用して整式の割り算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整式における除法の原理を理解し、剰余の定理が成り立つことを知る。</li> <li>剰余の定理を利用して簡単に余りを求めら</li> </ul>

	式の因数を求めることに 関心を持ち、因数分解を試みる。	る。 ➤ 文字が含まれる場合も、因数定理に則って計算できることを考察する。	の余りを求めることができる。 ➤ 因数定理を利用して因数分解ができる。	れることを知る。 ➤ 因数定理によって因数を見つけられることを理解する。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 高次方程式	➤ 因数定理を利用して高次方程式を解くことに関心を持ち、実際に解いてみる。 ➤ 文字の含まれる高次方程式についても因数定理を利用して解くことを試みる。	➤ などと置き換え(単純化)することの有効さを考察する。 ➤ 因数定理を利用して因数分解することによって、高次方程式の解が求められることを考察する。	➤ 「n次方程式」「高次方程式」「3乗根」などの用語を適切に使うことができる。 ➤ 3次方程式を因数分解して解を求めることができる。	➤ 高次方程式も2次方程式と同様に因数分解することで解を求めることができることを理解する。 ➤ 用語「2重解」「3重解」を理解し、利用できる。 ➤ 次方程式は複素数の範囲で常に個の解を持つことを知る。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

(3) 図形と計量			
目標 座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係に関心をもつとともに、それらを問題の解決に活用しようとする。	座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察することができる。	平面図形を座標や式を用いて表現し、直線や円などの基本性質を有用に活用し処理したりすることができる。	点と直線、円について理解し、基礎的な知識を身に付けている。

ア 点と直線			
数直線概念を理解し、2点間の距離や線分の分点の座標を求めることができるようにする。			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ア) 直線上の点	➤ 数直線上の点と座標が対応し、実数を用いて表されることによる様々な考察が可能になることに関心をもつ。 ➤ 数直線上の2点間の	➤ 中点の座標が、 $m:n$ に内分する点の座標を $m=1, n=1$ の場合として得られることに気づく。 ➤ 線分を $m:n$ に外分する点の座標は、 $m:-n$	➤ 絶対値の概念を理解し、2点間の距離を求めることができる。 ➤ 線分の分点の座標を公式を用いて求
			➤ 座標の大小関係が分かっているときは、数直線上の2点間の距離を絶対値を用いなくともめられることを理解する。

	距離，線分の分点の座標を求めようとする。	に内分する場合と考えることができることに気づく。	めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内分点の座標を求める公式をもとにし，外分点や中点の座標も求められることを理解する。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(イ) 平面上の点	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面上の点を，座標を用いて表すことの有用性を実感し，今まで以上に様々な考察が可能になることに関心をもつ。</li> <li>対称移動によってどのように座標が変化するか，視覚的に考察しようとする。</li> <li>2点間の距離，線分の分点の座標を求めようとする。</li> <li>幾何の証明問題に関心をもち，証明しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面上の点の座標が点を軸へ正射影することにより，直線上の点の座標から構成されていることに気づく。</li> <li>平面上の2点間の距離は，三平方の定理を用いて求めることができることに気づく。</li> <li>平面上の2点間を結ぶ線分の分点の座標も，数直線の場合と同じように求められることに気づく。</li> <li>幾何の証明問題において，座標軸の設定の有用性に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面上の点を座標を用いて表し，対称移動によって変化した座標を求めることができる。</li> <li>2点間の距離，線分の分点の座標を，公式を用いて求めることができる。</li> <li>幾何の問題において，座標軸をとり点を座標で表すことによって，証明できる。</li> <li>三角形の重心の座標を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面を座標軸を用いて4つの部分に分けることができるが，座標軸はどの象限にも含まれないことを理解する。</li> <li>2点間の距離の公式から，実数の2乗の正の平方根と絶対値の関係を確認し，理解できる。</li> <li>幾何の証明問題では座標軸の決め方が大切であることを理解し，的確に座標軸をおくことができる。</li> <li>証明したことがらを考察し，定理として理解できる。</li> </ul>
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

直線の方程式				
点と傾きとの関係から直線の方程式が導かれることを理解し，平面図形の性質や関係を考察する際に必要になる直線の方程式を作れるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(ウ) 直線の方程式 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>点と傾きとの関係から直線の方程式が導かれる過程に関心をもち，直線の方程式がどのように決定するのか調べようとする。</li> <li>直線が1次方程式で表されることに関心をもち，図形を直線を用いて調べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線の捉え方を点と傾きという見方から考察することができる。</li> <li>関数として扱ってきた直線概念を，方程式として扱うことで数学的に座標を求める考え方が確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点と傾きが与えられた場合と，2点が与えられた場合について，それぞれの直線の方程式が導ける。</li> <li>直線を1次方程式として表現することができ，図形における考察を代数的に処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点と傾き，及び2点を与えることによって直線の方程式が決定することを理解している。</li> <li>直線が1次方程式で表されることを認識し，2直線の交点の座標が2元1次方程式の解で与えられることを理解している。</li> </ul>

	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
(エ) 2直線の関係	・2直線の平行条件や垂直条件,更に点と直線との距離についてその関係を理解し活用しようとする。 ・直線だけでなく,直線と直線から得られる情報を利用し図形を分析しようとする。	・2直線が平行,垂直になる為には条件が存在し,その過程が確認できる。 ・直線の方程式が点の座標を用いて代数的に処理され,座標を代入することで距離までが容易に求められることが確認できる。 ・図形の間を数式で表すことでその図形の性質を証明することができる。	・直線の平行・垂直条件を活用し,新たな直線の方程式を求めることができる。 ・座標平面上の図形に直線の方程式を求める際に考察した概念を導入することで,座標や線分の長さ,図形の面積などを求めることができる。	・2直線の平行条件と,垂直条件を理解している。 ・点と直線との距離は直線の方程式にその点の座標のみを代入することで得られることを理解している。 ・直線の平行条件や垂直条件を用いれば図形の構造が容易に掴めることを理解している。
	発言 ノートチェック 観察 自己評価	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック 自己評価

イ 円の方程式				
目標 円が方程式で表されることを理解し,円と直線の関係を方程式でとらえることにより,円と直線の関係について今までより深い考察を可能にする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
	中学までは図形としてしか扱わなかった円が方程式で表されることに関心をもち,それらを問題の解決に活用しようとする。	与えられた条件から円の方程式を求め,また直線と円の関係について,考える。	今まで学んだ方程式の解法や,公式を使い,的確に数式を処理することができる。	円の方程式,円と直線の位置関係と判別式,円の接線の方程式について理解し,基礎的な知識を身に付けている。

(ア) 円の方程式				
円が方程式で表されることを理解し,円を方程式で表す。また与えられた円の方程式から中心,半径を求めることができるようにする。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 円が方程式で表されることについて関心をもち。</li> <li>➤ 2点間の距離の公式,中点の公式を使って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 円が中心と半径が与えられれば,1つに決まることに気付く。</li> <li>➤ 2点を直径の両端とする円の中心と半</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 具体的な中心と半径が与えられた円を円の方程式に代入して求めることができる。</li> <li>➤ 2点を直径の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 円の方程式を導く。</li> <li>➤ 平方完成を使い,円の中心と半径を求める変形を理解する。</li> </ul>

（ア） 円の 方 程 式	問題を解こうとする。	径の出し方に気付く。 ➤ 円の中心と半径の求め方が、2次関数の平方完成と同じ変形だとわかる。 ➤ 3点を通る円の方程式のおき方に気付く。	両端とする円の方程式を求めることができる。 ➤ 与えられた円の方程式から中心の座標と半径を求めることができる。 ➤ 3点を通る円の方程式を求めることができる。	➤ 連立方程式を解くことにより、3点を通る円の方程式を求めることができることを理解する。
	発言 ノートチェック 観察	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック

（イ） 円と直線 円と直線の位置関係について、共有点の求め方、判別式、円の接線の方程式について学び、理解を深める。				
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
（イ） 円 と 直 線	➤ 円と直線の間に関心をもち、どのような場合があるのか考えてみる。 ➤ 円と直線の間を方程式でとらえることにより、今まで以上に具体的な考察が可能になることを実感する。	➤ 円と直線の共有点の求め方について考える。 ➤ 円と直線の位置関係のとらえ方が、判別式と、円の中心と直線の距離の2通りでとらえられることを理解する。 ➤ 円の中心と接点を結んだ直線は接線に垂直であることに気づき、接線の公式を使わずに原点を中心とする円の接線の方程式を求めることができる。	➤ 与えられた円と直線の共有点を求めることができる。 ➤ 点と直線との距離の公式を使い問題を解くことにより、円と直線が接する場合の理解を深める。 ➤ 原点を中心とする円上の点における接線の方程式を求める。 ➤ 円外の点から原点を中心とする円に引いた接線の方程式と接点の座標を求めることができる。	➤ 円と直線の位置関係は判別式の符号で決まることを理解する。 ➤ 原点を中心とする円の接線が公式で表されることを理解する。 ➤ 円外の点から原点を中心とする円に引いた接線の方程式の求め方を理解する。
	発言 ノートチェック 観察	発言 観察 ノートチェック ペーパーテスト	ペーパーテスト ノートチェック 観察	ペーパーテスト ノートチェック

## 体育(1年)

単位数	学年・クラス	使用教科書(出版社)	指導者
3単位	1年全学科	カラーワイドスポーツ(大修館)	体育担当教員

### 教科・科目の目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを味わうことができようとして自ら進んで運動をしようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心や興味をもち、学習に取り組もうとする。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を身に付けている。
評価方法	授業中の活動状況 出席状況 学習態度 班ノート記入内容 自己評価表	授業中の活動状況 班ノート記入内容	授業中の活動状況 班ノート記入内容 スキルテスト	授業中の発問に対する応答 班ノート記入内容 授業中の活動状況

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	安全に自主的・合理的に運動ができる知識と技能を身につけさせる 生涯にわたって計画的に運動ができるための、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけさせる。 スポーツにおけるルール的重要性を理解させ、ルールを決めるところから学ぶ意欲を持たせる。 グループ学習を取り入れ、自ら考える機会を多くする。 個人内評価が適切にできるよう、授業外での自主的な学習活動等も評価に含める。
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準	評価観点
4	体づくり運動	<p>自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題を持って次の運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりするとともに、これらの運動を生活の中で実践できるようにする。</p> <p>体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、お互いに協力して運動ができるようにする。</p> <p>自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫することができるよ</p>	関心・意欲・態度	自分の体や心の状態に気付き、体の体調を考えながら、体づくり運動を楽しく行おうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
			思考・判断	自分の体力や体調に適した運動を選んでいる。 運動の内容や方法を見直したりして、新しい運動を選んだりしている。
			技能・表現	自分の体力や体調に応じた運動を身に付け合理的に体力を身につけることができる。 新しい運動をすることができる。
			知識・理解	体づくり運動の特性を理解した中で、運動の種類と体力の向上する運動の行い方を説明できる

		うにする。		
5 ・ 6 ・ 7	選択 柔道 剣道・ ダンス	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようになる。	関心・意欲 ・態度	自分の能力に応じた技を習得し、相手との攻防を展開して競い合う武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		伝統的な行動の仕方に留意して、お互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようになる。とともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようになる。また、禁止技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようになる。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、技の組み合わせや返し技を身に付けられるように課題を設定している。 試合などから新しい課題を見つけ出し、練習方法を考えたり、選んだりしている。
		自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の工夫を工夫することができるようにする。	技能・表現	自分の能力に応じた技や対人技能を習得し、試合や練習をすることができる。 試合で、相手の動きや技に応じて、技をかける・防ぐ・返すなどができる。
		自己の能力に応じた課題を持って行い、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして交流し、発表することができるようにする。	知識・理解	武道の伝統的な考えや特性を理解した中で、各種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。 各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。
		お互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにする。	関心・意欲 ・態度	ダンスの演技のできばえを求め、リズムに乗って動く、仲間とかかわりをもって動くダンスの楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の工夫を工夫することができるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようになる。	思考・判断	自分の技能に応じた技を選び、イメージが表現できるように課題を設定している。 課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。
			技能・表現	自分の技能に応じた技を身に付けスムーズ・リズムカルに表現することができる。 新しい技をリズムカルに表現することができる。
			知識・理解	ダンスの特性を理解した中で、技の種類、技の組み合わせの構成やイメージした表現を考えられる 発表の仕方や共感、感動する鑑賞の仕方を説明できる。
8 ・ 9 ・ 10	選択 球技	チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。	思考・判断	技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。
		チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームがで	技能・表現	自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。 練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。

		<p>きるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p> <p>チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。</p>	
11・12	選択 陸上競技	<p>自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができるようにする。</p> <p>お互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</p> <p>自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>競技の向上を求めて、全力で取り組み、陸上運動の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるの中で目標や課題を設定している。</p> <p>課題の状況に合わせた練習方法を考えたり、選んだりしている。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分の能力に応じた走る・跳ぶ・投げるをすることができる。</p> <p>走る・跳ぶ・投げる中で、基本的な動きを身に付け、競技したり記録を高めたりすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>陸上運動の特性を理解した中で、種目の種類に応じた練習方法を考えられ、説明できる。</p> <p>各種目のルールや審判法を理解し、競技会の運営の仕方が説明できる。</p>	
1・2・3	選択 (球技)	<p>チームの課題や自己の能力に応じて技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</p> <p>チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>技能のできばえやチームによる勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>用具の準備や健康・安全の場づくりに気を配り、仲間と協力してあいながら取り組もうとする。</p>	
			<p>思考・判断</p> <p>自分やチームの能力に応じた練習方法を選び、考え、課題を設定している。</p> <p>練習試合などから、自分やチームの課題を見直し、新しい課題を設定している。</p>	
			<p>技能・表現</p> <p>自分やチームの能力に応じた技能を身に付け、試合をすることができる。</p> <p>新しい技能を身に付け技で相手との攻防を展開したりして、試合をすることができる。</p>	
			<p>知識・理解</p> <p>各球技種目の特性を理解した中で、</p>	

する。

チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようになる。また、競技会の企画や運営ができるようになる。

種目の種類に応じた個人技術やチーム戦術の練習方法を考えられ、説明できる。

各球技種目のルールや審判法を理解し、試合の運営の仕方が説明できる。

# 保 健

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
1単位	1年全学科	現代保健体育（大修館）	保健担当教員

## 教科・科目の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価規準	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。		個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。
評価方法	授業中の発問に対する応答 出席状況 学習態度 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 自己評価表	授業中の発問に対する応答 授業中の演習問題に対する解析の仕方 ノート 定期的なプリント 小テスト 定期試験		授業中の発問に対する応答 授業中の演習問題に対する解析の仕方 ノート・提出課題 定期的なプリント 小テスト 定期試験

到達目標に向けての具体的な取組  【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、正しい知識を身につけさせる。 個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断できるようにさせる。 生涯にわたり健康安全について感心を持ち、生活の中で実践できる知識を身につけさせる。 グループ学習を取り入れたり、発問を多くするなど自ら考える機会を多くする
---	---

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準		評価観点
4	私たちの健康のすがた	国や年代での健康問題の変化を知り、現在の健康問題を理解する。	関心・意欲・態度	健康の考え方や保持増進の方法の変化、適切な意思決定や行動選択の重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
			思考・判断	健康の考え方や保持増進の方法・意思決定や行動選択を適切に行うために必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	健康のとらえ方	健康がどの要素から成り立っているかを説明できる。	技能・表現		
			知識・理解	健康の考え方や保持増進の方法の変化、適切な意思決定や行動選択の重要性について説明ができた、学習ノートに書き出している。	
5	さまざまな保健活動や対策	さまざまな保健活動について理解する。ヘルスプロモーションに基づく活動について理解する。	関心・意欲・態度	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品・感染症・エイズに関する心身への影響や予防方法のための適切な意思決定や行動選択の重要性に関心や興味をもち意	

6	・ 飲酒と健康	飲酒が体におよぼす健康影響を理解する。		欲的に学習に取り組んでいる。	
	薬物乱用と健康	薬物乱用が体におよぼす健康影響を理解し、適切な、意思決定ができるようにする。	思考・判断	薬品・感染症・エイズに関する心身への影響や予防方法のための意思決定や行動選択に必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	医薬品と健康	医薬品の適切な役割と使い方を理解する。	技能・表現		
	感染症とその予防 エイズとその予防	感染症の問題を理解し、予防法を理解する。 エイズの実態や問題を理解し、予防法を理解する。	知識・理解	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品・感染症・エイズに関する心身への影響や予防方法のための意思決定や行動選択の重要性について説明ができた、学習ノートに書き出している。	
7 ~ 9	健康にかかわる意思決定・行動選択	健康問題に関する意思決定・行動選択の重要性を理解する。	関心・意欲・態度	人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること、精神と体には密接な関係があること、ストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることの重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	意思決定・行動選択に必要なもの	適切な意思決定・行動選択に必要なことを理解する。	思考・判断	人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること、精神と体には密接な関係があること、ストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、意思決定や行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	欲求と適応機制	さまざまな欲求の種類を知り、欲求不満の時の適応機制を説明できる。	技能・表現		
	心身の相関とストレス	心身相関を理解し、ストレスが心身に与える影響を説明できる。	知識・理解	人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること、精神と体には密接な関係があること、ストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることの重要性について説明ができた、学習ノートに書き出している。	
	ストレスへの対処 自己実現	ストレスの対処法を理解し、自分なりのストレスの解消法を考えられる。 自己実現のプロセスを理解し、自分にとっての自己実現を考えられる。			
10 ~ 12	交通事故の現状と要因	交通事故の現状と要因を理解する。	関心・意欲・態度	交通安全の防止には、主体・環境・車両の要因や事故を起こさないようにする社会づくりが関わっていること、事故を起こした時の補償や責任について理解し、その重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	交通社会における運転者の資質と責任	運転者の資質と責任と補償について理解する	思考・判断	交通安全の防止には、主体・環境・車両の要因や事故を起こさないようにする社会づくりが関わっていること、事故を起こした時の補償や責任について理解し、意思決定や行動選択ができる	

	安全な交通社会づくり	現在の安全な社会づくりのために行われている方策を理解する。		ように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
			技能・表現		
			知識・理解	交通安全の防止には、主体・環境・車両の要因や事故を起こさないようにする社会づくりが関わっていること、事故を起こした時の補償や責任について理解し、その重要性について説明ができた、学習ノートに書き出している。	
1 ~ 3	応急手当の意義とその基本	応急手当の意義と基本的な手順を理解する。	関心・意欲・態度	応急手当や心肺蘇生法の意義や正しい手順・方法について、その重要性に関心や興味をもち意欲的に学習にちり組んでいる。	
	心肺蘇生法	心肺蘇生法の適切な手順を理解する。	思考・判断	応急手当や心肺蘇生法の意義や正しい手順・方法について、意思決定や行動選択ができるように必要な選択を判断している。また、そのための課題の解決方法を自分の経験や仲間との意見交換により見つけている。	
	日常的な応急手当	日常的な応急手当の手順を理解する。	技能・表現		
			知識・理解	応急手当や心肺蘇生法の意義や正しい手順・方法について、その重要性について説明ができた、学習ノートに書き出している。	

# オーラルコミュニケーション 評価基準

山梨県立谷村工業高等学校  
英語担当教員

対象学年 1年生

使用教科書 On Air Communication (KAITAKUSHA)

## 1. 科目目標

日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

## 2. 評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり発表したりして表現する。	身近な話題について、英語を聞いたりして、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを整理して理解する。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけると共に、その背景にある文化などを理解している。

## 3. 年間学習計画

	単元	学習内容
1	Lesson 1 Meeting people	英語での挨拶表現の理解 英語を使った自己紹介
	Lesson 2 School subjects	科目の英語表現 英語で時間割作成
2	Lesson 3 Telling the way	道順の尋ね方の理解 道順の説明の仕方の理解 方向・方角を示す英単語の把握
	Lesson 4	放課後の予定の説明の仕方を把握

3	After school	
	Lesson 5 How do you get to school?	交通手段の把握 通学方法の英語表現
	Lesson 6 In a restaurant	レストランでの注文方法の理解 メニューに関する英語表現の把握
	Lesson 7 What did you watch?	テレビ番組のジャンルを英語で理解 英語を使った印象の説明

#### 4 小單元ごとの評価規準

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学期	「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。 積極的に英語を使って話している。	発音に留意し、積極的に英語を音読している。 英語で自己表現（主に自己紹介）をしている。 時間割についてその英語での言い方を理解でき、英語で説明できる。 一日のスケジュールを英語で表現することができる。	英語での自己紹介の表現方法を理解し、自分を表現するだけでなく相手の伝えようとすることを正確に理解できる。 時間割について英語を使った表現方法を理解し、自分を表現するだけでなく相手の伝えようとすることを正確に理解できる。	国名・首都を知り、英語でそれぞれ表現できる。 英語での科目の言い方を知り、理解できる。 英語で時間割表を書くことができる。
2	「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。 ペア・ワークにおいて英語で積極的に話している。	道順を英語で説明できる。 放課後の活動(部活、ボランティア、アルバイト等)を英語で表現でき、	方角を示す英単語を理解している。 道順を説明する英語表現を理解し、自己表現だけでなく相手の伝	方向・方角を表す英単語を適切に使い分けられる。 道順を尋ねる疑問文を正しく作れ

<p>学期</p>		<p>自分の予定を英語で発表できる。 自分の通学方法、所要時間などを英語で説明でき、発表することができる。</p>	<p>えようとすることを正確に理解できる。 放課後の活動(部活、ボランティア、アルバイト等)の表現の仕方を理解でき、自分の予定だけでなく相手の伝えようとしていることを正確に理解でき、的確に受け答えができる。</p>	<p>る。また、その疑問に対し正しい英文で受け答えることができる。 交通手段に関する英語を理解でき、自分の通学方法を示す英文を正しく作れる。</p>
<p>3学期</p>	<p>「話すこと」の言語活動に積極的に参加している。 ペア・ワークにおいて英語で積極的に話している。 「書くこと」の言語活動に積極的に参加している。 メニューやテレビ番組の一覧表を英語で書くことができる。</p>	<p>英語でメニューを作成することができる。 レストランに言った際、英語で注文ができるようになる。 英語で注文を受けることができる。 英語でテレビ番組について説明でき、その感想を英語で表現することができる。</p>	<p>レストランでの英語を用いた注文表現を理解できることができる。 テレビ番組について、英語でどのように表現するか理解できる。 自分の伝えたいことだけでなく、相手の表現したいことを正確に理解できる。</p>	<p>英語でのメニューの表現を理解し、正しいメニュー一覧表が作れる。 テレビ番組表を英語で作成できる。</p>

## 5 小单元ごとの評価方法

単元	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1学期	<p>出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数</p>	<p>学習態度 授業プリント デモンストレーション</p>	<p>学習態度 授業プリント デモンストレーション</p>	<p>学習態度 授業プリント デモンストレーション</p>

	デモンストレーション			
2 学 期	出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数 デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション
3 学 期	出席状況 学習態度 授業プリント 発言回数 デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション	学習態度 授業プリント デモンストレーション

# 英語 評価基準

山梨県立谷村工業高等学校  
英語担当教員

対象学年 1年生

使用教科書 高校英語入門フレッシュノート (ZOSHINDO)  
ALL ABOARD! ENGLISH (TOKYO SHOSEKI)

## 1. 科目目標

身近な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的かつ発展的な能力を養うと共に、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てる。

## 2. 評価の観点および趣旨

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	幅広い話題について、情報や考えなどの伝えたいことを整理して、英語で話したり書いたりして表現する。	幅広い話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを整理して理解する。	幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけると共に、その背景にある文化などを理解している。

## 3. 年間学習計画

	単元	学習内容
1	(フレッシュノート) Lesson 1 ~ Lesson 20	名詞の単数・複数 人称代名詞 be 動詞現在形・過去形 一般動詞現在形・過去形 進行形 There is ~ , There are ~ 命令文 助動詞 疑問詞 感嘆文 形容詞と副詞の比較変化

2	<p>(フレッシュノート) Lesson 21 ~ Lesson 31</p> <p>(教科書) Lesson 1 ~ Lesson 2</p>	<p>現在完了 受動態 現在分詞と過去分詞の形容詞的用法 不定詞・動名詞 関係代名詞 接続詞 基本文型 &lt; 主語 + 動詞 &gt; &lt; 主語 + 動詞 + 補語 &gt; &lt; 主語 + 動詞 + 目的語 &gt; 過去を表す文 &lt; 動詞の過去形 &gt; there is (are) ~ の文の定着</p>
3	<p>(教科書) Lesson 3</p>	<p>現在進行形 過去進行形 自分の考えや感情を伝える</p>

#### 4 小单元ごとの評価規準

学期	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
1 学期 中間 試験	<p>教師の英語を積極的に聞いている。</p> <p>積極的に英語を使って話をしている。</p>	<p>発音に留意し、積極的に英語を音読している。</p> <p>英語で自己表現（主に自己紹介）をしている。</p>	<p>聞いたり、読んだりしたことを、理解することができる。</p>	<p>文法事項を理解し、それを使って正しい英文を作ることができる。</p>
1 学期 期末 まで	<p>教師の英語を積極的に聞いている。</p> <p>積極的に英語を使って話をしている。</p>	<p>発音に留意し、積極的に英語を音読している。</p>	<p>聞いたり、読んだりしたことを、理解することができる。</p>	<p>文法事項を理解し、それを使って正しい英文を作ることができる。</p>
2	教師の英語を積	発音に留意し、	聞いたり、読ん	文法事項を理解

学期 中間 まで	積極的に聞いている。 積極的に英語を使って話している。	積極的に英語を音読している。	だりしたことを、理解することができる。	し、それを使って正しい英文を作ることができる。
2 学期 末 まで	「読むこと」、「書くこと」の言語活動や英語学習に積極的に取り組んでいる。 積極的に英語を使って話している。	内容に留意し、正しい発音、イントネーションで音読ができる。 ターゲット文を暗誦できる。	教科書の英文を読み、正しく理解することができる。 there is (are) ~ の文を理解している。	基本文型のことを考えながら、正しい英文を作ることができる。 正しい過去形の英文を作ることができる。
3 学期 末 まで	「読むこと」、「書くこと」の言語活動や英語学習に積極的に取り組んでいる。 積極的に英語を使って話している。	内容に留意し、正しい発音、イントネーションで音読ができる。 ターゲット文を暗誦できる。	教科書の英文を読み、正しく理解することができる。	正しい現在進行形、過去進行形の英文を作ることができる。

## 5 小単元ごとの評価方法

単元	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1 学期 中 間 まで	出席状況 学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）

1 学 期 期 末 ま で	出席状況 学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）
2 学 期 中 間 ま で	出席状況 学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）	学習態度 授業プリント フレッシュノート 英語（問題集）
2 学 期 期 末 ま で	出席状況 学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント
3 学 期 期 末 ま で	出席状況 学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント	学習態度 授業プリント